

一般質問

花井 伸子 議員

高齢者の見守り活動は

「関係機関が協力し活動を行う」



◀お年寄りが安心して暮らせるまちづくりに

議員 独居高齢者、高齢者世帯の増加に伴い、高齢者の孤独死が増えている。安心への対応を。

①訪問調査の定期実施を。②無料の短いスパンでの安否確認事業の実施と、現在ある高齢者福祉・介護サービスの周知、利用促進を。

③引きこもり対策は。福祉部長 ①一人暮らし等の高齢者調査を毎年度

定期的に行い、関係各課、地域包括支援センター、民生委員が協力した高齢者の見守り活動を行う。②高齢者の安否確認を前提とした食事サービス、緊急電話の設置の促進を図る。③元気な高齢者や市民を巻き込んで、地域の様々な場所に誘導できるようなシステムを構築していく。

防災ラジオの普及を

議員 現在、地域の自主防災会に各20台ずつ貸与している防災ラジオを、希望する市民への貸し出し、購入はできないか。総務部長 防災行政無線のシステムをアナログからデジタル化への移行を検討している。デジタル化への移行完了後もアナログ式の併用が可能なのか検証し、今後の対応を検討したい。

議員 制度導入から6年が経過したが、実績が増えず、減少状況にある。制度を検証し、より目的に沿う制度になるよう改善を行うべきである。総務部長 制度の利用促進を図ることを念頭に、種々検討を行い、より多くの意見がいただけるよう工夫したい。

パブリックコメント制度の検証と改善を

公立小中学校の「一貫化」を進められないか

「現時点では小中学校の連携から」

酒井 郁郎 議員

議員 現在、多くの自治体では小中一貫教育を導入し、落ち着いた教育環境の形成や、生徒の学力向上に成果を上げている。小中一貫は、①小学校と中学校教育の課程を

調整し、カリキュラムの無駄を省いて教育の質を上げること、②近年、早熟化している児童の発達に学年の区切り(学制)を合わせることを、などを目的とする。本市の検討

状況と今後の方向性は。教育部長 小中一貫教育の意義は、子どもの能力や個性を最大限伸ばし、きめ細かに指導できること、「中一ギャップ」の解消などと認識している。まずは小中学校の連携を一層充実させていくことが現時点では重要である。さらなる景況悪化を前提に不況対策を

議員 現在、世界的に経済を中心に先が見えない危機的状況にある。社会不



◀子どもたちのパワーに脱帽

安の緩和に向け、市内の企業経営や生活の実態に即した救済措置を講じ、市民の生活を守ることに真剣に取り組んでいかななくてはならない。①今後のさらなる状況悪化時の対応は。②犯罪・自殺防止など、いわゆる不況対策以外の施策は。③本市が不況対策を行っていることは余り知られていない。断固とした姿勢をもつとPRしてはどうか。

議員 制度導入から6年が経過したが、実績が増えず、減少状況にある。制度を検証し、より目的に沿う制度になるよう改善を行うべきである。総務部長 制度の利用促進を図ることを念頭に、種々検討を行い、より多くの意見がいただけるよう工夫したい。

遠藤 英樹 議員

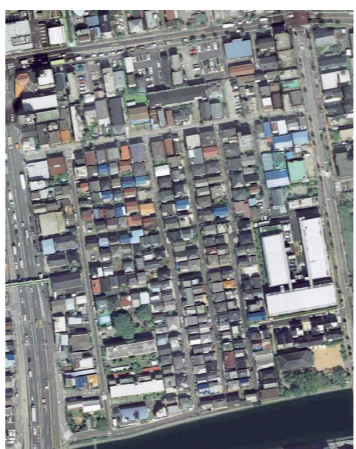
川岸地区防災まちづくりプランの推進を

「10年以内の実施を目指す」

議員 1990年の川岸地区まちづくりを考える会の発足以来、19年の長きにわたって幾つもの計画や提言を川岸地区まちづくり推進協議会が行ってきたが、残念ながら大きな進展はなく現在に至っている。本市で最初の地区計画がどのような展開を見せるかは、その後続く新曽第一地区の地区計画や景観づくり推進計画などにも大きな影響を及ぼすと考えるが、現状と今後

手塚 静枝 議員

議員 1990年の川岸地区まちづくりを考える会の発足以来、19年の長きにわたって幾つもの計画や提言を川岸地区まちづくり推進協議会が行ってきたが、残念ながら大きな進展はなく現在に至っている。本市で最初の地区計画がどのような展開を見せるかは、その後続く新曽第一地区の地区計画や景観づくり推進計画などにも大きな影響を及ぼすと考えるが、現状と今後



のスケジュール ◀住宅が密集する川岸2丁目地区の様子

議員 災害時の避難路の確保は。都市整備部長 幾つかの箇所で地権者のご協力がいただけることから、順次進めていきたい。

議員 避難場所となる公園の整備とあわせて、集中豪雨対策のための雨水貯留施設等の設置は。都市整備部長 公園整備は、具体的な場所の特定までには至っていないが、市内の平均的な公園面積を確保していきたいことから、今後、既存公園の再整備を含めて、約1200平方メートルの新たな広場を確保していく。雨水貯留施設等も検討していく。

議員 電線地中化の可能性はどうか。都市整備部長 物理的な課題や地中化する効果等を勘案しながら検討する。議員 密集市街地の改善という意味では、他地区への展開はどう考えるか。都市整備部長 国による重点密集市街地として公表された本地区をまずは重点的に取り組んでいく。

荒川河川管理用道路の廃道を巡る市の回答は

「試験的な通行止めを国に要望」

議員 荒川河川管理用道路の閉鎖を巡って、国より意見を求められていた結果、国にどう回答したのか。また、地元町会の意見はどのような意見か。本市の回答に対し、

議員 国はどう返答されたか。都市整備部長 関係する町会に意見を聞いた結果、閉鎖した場合の車両の動線の変化で賛否が分かれ、本市としては閉鎖した場合の車両の動線の変化を



▲存廃の岐路にある荒川河川管理用道路

議員 県や市が取り組む消費生活相談窓口の充実を

消費生活相談窓口の充実を

議員 「家読」の推進を

「家読」の推進を

議員 ①「朝読」に続き、今後は家族みんなで家で読書をする「家読」の推

